

平成28年11月25日

土地・建設産業局 地価調査課

主要都市の地価は82%の地区で上昇基調

～平成28年第3四半期の地価LOOKレポートの結果～

今年7月1日～10月1日を調査対象とした地価LOOKレポートによれば、三大都市圏に加え、地方都市である札幌、仙台、金沢、福岡でも比較的高い地価の上昇が継続しています（上昇地区は82%、前期比6ポイント減）。

一方、東京圏及び大阪圏の一部の地区（商業地）では、上昇幅が縮小しました。また、東京圏の一部の地区（住宅地）では、上昇から横ばいへ転じました（横ばい地区は18%、前期比6ポイント増）。

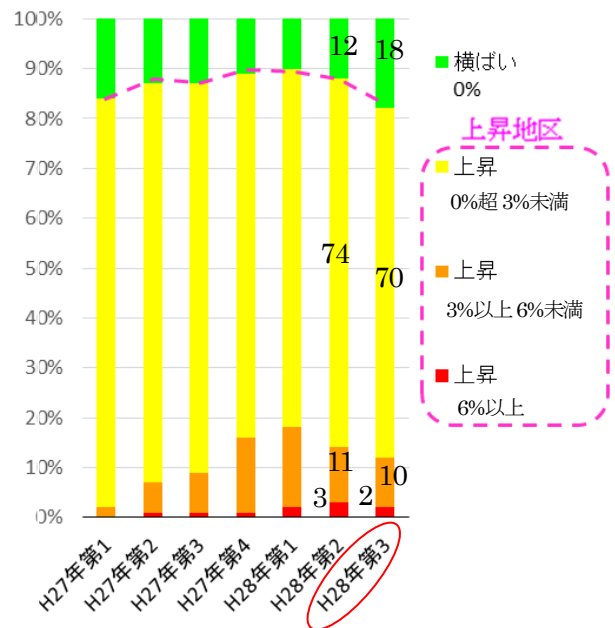
【上昇の主な要因】

- 空室率の低下等によるオフィス市況の改善
 - 大都市等における再開発事業の進捗
 - 訪日観光客による消費・宿泊需要
- 上記要因を背景に、オフィス、店舗、ホテル等に対する投資が引き続き堅調に推移。

【比較的高い上昇を示した地区】

- 6%以上の上昇（2地区）
太閤口（名古屋市）、なんば（大阪市）
- 3～6%の上昇（10地区）
宮の森、駅前通（以上 札幌市）、中央1丁目（仙台市）、銀座中央（前期は6%以上の上昇）、日本橋、新宿三丁目（以上東京都）、金沢駅周辺（金沢市）、名駅駅前（名古屋市）、心齋橋（大阪市）、博多駅周辺（福岡市）

上昇・横ばい・下落地区数(割合)の推移



※地価LOOKレポート(主要都市の高度利用地地価動向報告)とは

国土交通省が、主要都市の高度利用地等を対象に、四半期毎の地価動向を調査し、先行的な地価動向を明らかにするものです。調査対象は全国100地区で、内訳は以下のとおりです。

- 東京圏 : 43地区
- 大阪圏 : 25地区
- 名古屋圏 : 9地区
- 地方圏 : 23地区

調査結果の詳細は、土地総合情報ライブラリー (<http://tochi.mlit.go.jp/kakaku/chika-look>)にて公開しています。

<お問い合わせ先>

土地・建設産業局 地価調査課 地価公示室

主任分析官 吉野（内線 30366）、分析官 山口（内線 30367）、鑑定官 水越（内線 30363）

（代表）03-5253-8111（直通）03-5253-8379（FAX）03-5253-1578